

2011年3月24日

日本リハビリテーション医学会 会員各位

日本リハビリテーション医学会理事長

里宇明元

被災地現地での活動について

現在、大震災後の被災者・被災地支援のために、さまざまな団体を通じて災害ボランティアの派遣が積極的に展開されています。ただし、現段階では移動・食料・生活・活動のすべてに自律性が求められる状況が続いており、現地での活動にはそれなりの経験と覚悟が必要です。また、現地のニーズを十分に踏まえ、真に役立つ活動を行う配慮も重要となります。

一方、震災直後の急性期医療が一段落した後には、廃用症候群の予防、各種障害への対応、生活機能向上のための対応など、リハビリテーション科医の果たす役割がますます大きくなるものと考えられ、会員の間にも現地での活動を希望される声が高まっています。

そこで、現時点における被災地での活動に参加するための方法を表にまとめましたので、参加を希望される会員におかれましては、それぞれに適した無理のない方法を十分にご検討のうえ、積極的に参加されますようお願いいたします。

なお、被災地に赴かれる場合には、今後の学会としての活動に役立てるために、以下のご協力をお願いいたします。

- 1) 可能な限り、事前に学会事務局 (office@jarm.or.jp) にご一報ください。
- 2) 共通の検診用チェックリスト(今後、日本リハ学会ホームページ/東北地方太平洋沖地震リハ支援関連情報サイトに掲載させて頂きます。ダウンロードしてお使い下さい。)をご活用ください。
- 3) 現地の状況およびニーズをリハビリテーション医学的視点も含めて、学会事務局 (office@jarm.or.jp) にお寄せください。

参加方法	概要	連絡・問い合わせ先
個人・グループでの参加	・現地の状況を踏まえ、自らの責任でご判断ください。	
各種の組織・ラインを通しての参加	・自治体、日赤、大学、国立病院機構、医師会など、各種の組織・ラインを通じた現地派遣が続々と始まっています。 ・自らに適したラインへの参加をご検討ください。	それぞれの窓口
会員掲示板「支援要請／支援し	・会員掲示板「支援要請／支援します」欄に、現地会員からの支援要請および全国の会員からの支援	<u>「支援要請/支援します」スレッド</u>

<p>ます」欄を通しての参加</p>	<p>意思表示のスレッドが立ち上がっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 内容をよくご確認ください、当事者同志で十分にご相談ください。 	
<p>「生活機能対応専門職チーム」による現地派遣への参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本医学会も参加している「生活機能対応専門職チーム」では、宮城県仙台市若林区を拠点に多職種チームによる活動を計画しています。 • 1回の派遣期間は1週間で、4月3日（日）から第一陣が現地に向かう予定です。 • 派遣の前日に研修および結団式に参加する必要があります。 • 本医学会より、自宅から現地までの交通費の実費を支給いたします。 • 本医学会の負担でボランティア保険に加入していただきます。 <p>*第一陣にはすでに会員からの応募があり、参加者が決まっています。</p>	<p>学会事務局 (office@jarm.or.jp)</p>